

【廃屋の臓木移植】



<p>活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使える空き家ではなく、廃屋を分解し、使える資材をその家のストーリーを紹介しながら別の小屋や建具の材料に臓木移植したい。そこで地域の人たちや町外の人たちと一緒に物語を作り上げ、家送りをしたいです。 ・こんな仲間に来てほしいです！ <p>建築関係者、日本の家の構造に興味がある方（外国の方、建築関係の学生等） この活動や考えが面白いと思ってくれる方。</p>
<p>主催者</p>	<p>中村 諒（なかむら りょう） 邑南町農作物販売PR支援員 邑南町田舎ツーリズム支援員 カメラ好き。旅好き。 6年海外に出ていて常にワクワクと一緒に居たい。</p>
<p>メッセージ</p>	<p>ボロボロになった廃屋が結構あって、無意識化でも人はそれを見ることによって、うちの集落はもうダメかもと諦めを感じたり、心が荒んでしまう事も昔のNYの地下鉄みたいにあると思います。家を解体したいということは前々から思っていました。しかし実際自分がここに住んで、廃屋や空き家もその持ち主や家族の思い出があることをヒシヒシと感じ、壊すだけじゃなく、そのモノが生きている形にしたいと思いこれを企画しました。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>未定</p>
<p>参加費</p>	<p>未定</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まだじっくりしか進んでおりません。
<p>WEBサイト</p>	<p>なし</p>